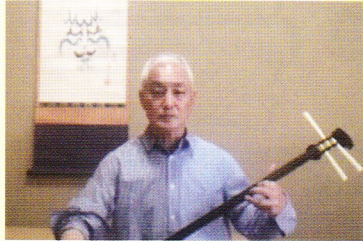


出演者プロフィール



ミュージック・クライン室内合奏団

1985年に結成された、パロック音楽をメインとするアマチュア弦楽合奏団です。毎年定期演奏会を開催、著名なソリストをゲストに迎えるなど演奏技術の向上に努めながら、親しみのあるより身近な演奏会を開催しています。また、病院や介護施設への慰問演奏を行なうなど、宇治市を中心に他市町村でも演奏活動を繰り広げています。小学校へのお出前授業も好評です。



杵屋 勝七郎

1960年生まれ。10歳で三味線を始める。三代目市川猿之助（現猿翁）の舞踊劇「黒塚」に魅了されて練習に励み、15歳の時、南座の猿之助公演で初舞台。

長唄三味線演奏家として海外公演を含む年間100以上の公演をこなし、作曲活動、講演、後進の指導にあたる。テレビ・ラジオにも数多く出演し、洋楽、落語、新劇等、他の芸術とも積極的に交流。自らのリサイタル「としひろの会」「二題の会」を主宰する。



葉 衛陽

中国杭州市生まれ。10歳から中国琵琶を学ぶ。1988年安徽師範大学音楽学部琵琶専攻を首席で卒業。1992年来日、京都教育大学大学院音楽教育専攻修士課程修了。

関西を中心として演奏活動「葉衛陽中国琵琶リサイタル」を開催。繊細なテクニックを駆使して、古典曲から現代曲まで幅広く演奏し、高い評価を受けている。弟子のさくらさんが金賞などを受賞したことによって、「優秀指導教師賞」を授与された。中国音楽家協会琵琶研究会会員、長城楽団代表を務める。



梅田 恒弘

日本ハーモニカ芸術協会大師範、日本ハーモニカ芸術協会理事、日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会会長、全日本ハーモニカ連盟理事、関西ハーモニカ連盟常任理事、2020年日本ハーモニカ芸術協会より、最高の賞「佐藤秀郎賞」を授与されました。



黒木 蘭

大阪芸術大学音楽部卒、帝塚山学院大学英米文学科卒、シャンソン歌手（2010年、第1回シャンソンコンクール受賞者）師匠は元タカラジェンヌの大スター鳳蘭師匠。鳳蘭レビューアカデミー出身。愛弟子と言っていただけになりました。賞をいただいた時に芸名を付けていただきました。

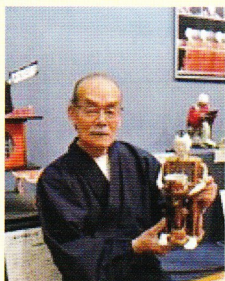
大阪NHKホールで、舞台。シャンソン40年。2017年12月30日、フランスからシャンソンディプロムを取得。日本シャンソン協会正会員。日仏シャンソン協会会員



黄檗山 万福寺

1661年に中国僧「隠元隆琦（いんげんりゅうき）禅師」によって開創されました。その後幕府の政策等により、宗派を黄檗宗（おうばくしゅう）と改称し現在に至ります。

萬福寺の建造物は、中国明朝様式を取り入れた伽藍配置です。創建当初の姿のままを今日に伝える寺院は日本では他に例がなく、代表的禅宗伽藍建築群として、主要建物23棟、回廊、額などが国の重要文化財に指定されています。時を超える芸術資産であり、日常の生活に多くの影響を与えています。煎茶道の祖師でもあります。



藤原 清

茶どころである京都府宇治市、茶碗を人形の手に乗せると客人の場所まで運ぶ伝統的なからくり人形「茶運び人形」を復活させました。「茶運び人形」の実演



とのむら 茂一 おかよこ

AFUアートフォーラム宇治会員
画家、絵画展を開催する
絵画で福祉に貢献

（ロビー展示）



牧野 伸彦

昨年、結成30年を迎えた
混声合唱団
「ハーモニー宇治」
代表